

令和3年度 事業可能性調査(サウンディング調査)実施結果

令和5年6月16日

1 実施概要



(1) 事業可能性調査（サウンディング調査）について

- 「新たなパークマネジメント手法(民間活力導入)」※の導入検討に先立ち、民間事業者から広く意見、提案を求め、対話を通して市場性や事業フレームのアイデアを得るための調査を実施。
- あくまで公園の持つ可能性を把握するための調査であり、具体的な事業を前提としたものではない。

※長期指定管理、Park-PFI等の、民間の優れたノウハウと資金を呼び込む新たな公園管理の手法

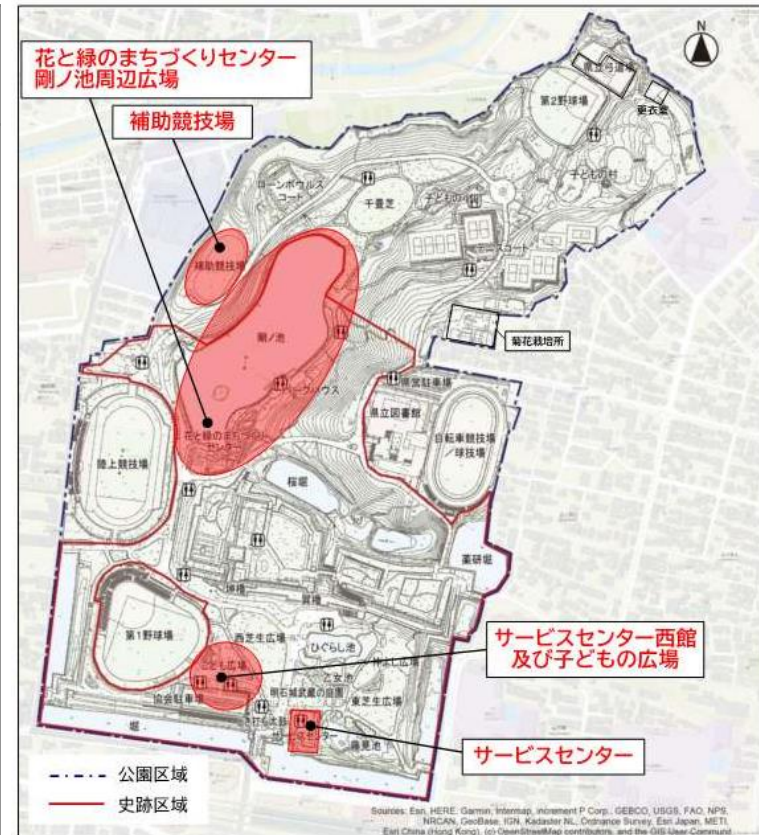
(2) 調査概要

調査期間

令和4年1月～令和4年2月

提案募集内容

- 法令の範囲内で新たな施設整備や既存施設の活用、リニューアル等公園の魅力向上に資する提案を募集
- 特に提案を求めたい事項（募集に当たり参考例示）
 - ・花と緑のまちづくりセンターを改修した収益施設の設置 + その収益を活かした剛ノ池周辺の活性化
 - ・サービスセンター西館を改修した収益施設の設置 + その収益を活かした子ども広場のリニューアル
 - ・サービスセンターの活用
 - ・補助競技場の活用
 - ・公園南側における屋台村、キッチンカー等の出店
- 自由提案も可能



※「特に提案を求めたい事項」で例示した区域を着色 1

2 実施結果

(1) 結果概要

○明石公園では19団体から事業提案があった。

(2) 明石公園の評価

○明石駅から5分という立地は抜群に良い。

○外周から公園内が見えず視認性に欠ける。駐車場が少なく、車でのアクセスが悪い。

収益施設 提案事例

- ・運動施設（ランニングステーション、スケートボードパーク等）
- ・グランピング施設
- ・既存施設の改修によるレストランやカフェ 等

事業 手法

①事業手法について

- ・ Park-PFI型施設整備＋公園全体の長期指定管理の希望が多い。

②事業期間について

- ・ 投資の償却を可能とするため「20年」の希望が多い。

意見

- ・ 20年であれば、地域に根ざした運営を通じて公園の魅力の引き上げ可能。
- ・ 事業期間を長期とする場合、物価や人件費の予測が困難であることから、指定管理料の途中見直しが必要。



■ 令和3年度調査結果の取扱い

- 令和3年度の調査では、民間事業者から自由にアイデア・意見を求め、結果として、明石公園の持つ非常に高いポテンシャルを把握することができた。
- 当該調査結果については、将来、明石公園において「新たなパークマネジメント手法」の導入を検討する際の参考として活用する。

■ 明石公園における民間活力導入について

- 今後、明石公園において「新たなパークマネジメント手法」を導入しようとする場合には、改めて、より具体的な事業可能性調査を実施する。
- その際には、部会において検討する、導入の進め方のルール※に則り、情報発信や意見聴取を丁寧に行いながら事業を進めていく。

※【資料3-2】3ページ参照